

芸術の秋、新旧紙上秀作展

～故砂井昭七氏、風間源一郎氏、村山成夫氏～



「斉藤重太郎氏肖像画」大正11年1月

今月は、芸術の秋にふさわしい一大行事である小須戸地区市民展と芸術祭も好評のうちに無事終わりました。さて今回は公民館報を小さな紙上美術館にみたくて素敵な作品三点をご紹介します。

晩年に描いた重々しい肖像画

砂井昭七さんは一八九六年(明治二十九年)三月に旧小須戸町に生まれました。描くことにひたすら一途に生き二十七歳という若さで亡くなった天才画家です。亡くなった原因も凄まじい。冬の角田山へ写生に出掛け、吹雪にまわられたのがもとで発熱し容態が悪化したというから、まさに画道に對し命がけの執念を感じます。(大正十二年三月に没する)

その砂井昭七さんの亡くなる約一年前の作品が、鎌倉新田の齊藤富一さん宅にあることを知り取材させて頂きました。観せてもらうと作品は油絵の肖像画でした。モデルは齊藤重太郎さんという富一さんの曾祖父にあたるとのこと。更に詳しくお話を聞きますと「昔は旧正月といつて、



「冬の湖畔」二科会写真部公募展(奨励賞)

好きな写真、撮り続けられるのが夢

二月が正月だった。十二月に入ってから正月間際まで約二カ月間、その砂井さんが、家に泊まりこみで描いた絵」と、齊藤家の言い伝えでこの肖像画の由来を話されました。富一さんの亡くなられた母親は砂井さんが絵を描いていた

る当時の様子を六歳頃に見ていたこともお聞きしました。齊藤さんは「百年近くも経っているが、全然色もあせなくて、子どもの時に観たまま」と、感慨深そうに肖像画を眺めながら話されました。(関連記事、裏面あり)

九月一日から九月十六日にかけて東京都美術館と上野の森美術館の二会場で開催された第五十三回二科会写真部公募展で厳選の結果風間源一郎さん(小須戸)が出品された「冬の湖畔」が見事奨励賞に輝きました。

風間さんによれば、今年の二月、厳冬の猪苗代湖に白鳥を求めて撮影に行きました。ところが、あいにくの猛吹雪で、それなりの写真は撮れなかったのですがその帰路、この風景に出会ったそうです。「モノトーンの中に横たわる赤と青のボート。私は、いいようなない感動を覚え、夢中でシャッターを切りました」と、撮影の様子を話してくれました。今後の夢をお聞きすると、「好きな写真を撮るだけでも撮り続けられるのが夢です」と話されました。

が洋画部門で優秀賞を受賞されました。村山さんは昨年の新津市展で奨励賞を受賞されたのに続いての二年連続の栄誉でした。審査員の選評によれば「構成の対角線をなす姿勢を大胆に中央に置き、明るい肌の処理を見事にまとめた点は敬服します。人物画では目の扱いが結構難点になるのに、生き生きとした動きを付け加えたのもこきみよい」と、大絶賛。また、今年の新潟市展でも入選を果たしたというから、その勢いや実力は留まることを知らないようです。村山さんは「多少でも気持ちを伝えられるようなものを描きたいです」と、受賞後の感想を話されました。地元若手作家の一人として今後の活躍を期待します。



大好評。書道パフォーマンスにうっとり。



小須戸の偉人小林米作氏コーナーで……



新旧芸術作品。題して「おらってえの文人画展」



「開けば納得」初の試み……。作品解説会

大盛況小須戸地区市民展



カメラ散歩

この程、平成十七年度「にいがた市民文学」の川柳部門で能登としお(小須戸)さんが、最高位である文学賞を受賞されました。能登さんは「身に余る光栄で、今は困惑しております。まだ未熟な身ですので、賞に恥じないよう川柳の勉強を続けたいと思っております」と、受賞の感想を話されました。

「毒舌の母にも温い紙おむつ ブチ整形ときどき鼻が高くなる 現況の届けに迷う山頭火」

なお、小須戸は文芸の活動も盛んであり、来月号にその他、入賞、入選者を作品とともに紹介していきます。

『にいがた市民文学』で川柳の能登氏 最高位受賞 排句部門では大貫松次郎氏も佳作で入賞

ちょこっと一言 (212)

地域へ戻っていく 私は現在公民館活動の役員や、スポレックというサークルのまとめ役をやらせていただいております。今でこそやりがいをもって取り組んでいます。正直最初は自分の中に大きな葛藤があり悩んだ時期もありました。それは一言でいえば「地域の人と関わることへのわずらわしさ」のようなもので



小須戸 森田幸衛さん

でも地域の人と一緒にイベントを企画し運営していく中で、会社勤めにはない横の連帯感や達成感、そして自分の存在価値や心のやすらぎまでも見出せるようになっていった気がします。会社勤めのつきあいは定年になつたら終つてしましますが、地域の付き合いは子ども頃の頃に戻っていきけるような楽しさを感じます。多くのひととの素敵な出会いが大切な財産になることに、早く気がつくことができていることに良かったと思っております。



「白い光の午後B」新津美術展(優秀賞)

シリーズ 活動の集だち

少人数でも強い絆

楽窯会 (陶芸)

公民館事業の陶芸教室で田辺一廣先生より教えていただいた後、好きな者同士集まり毎週金曜日の夜活動しています。初めは田辺先生にご指導していただいていたが現在は各自、自由に製作に励んでおります。



「あ～！良かったね～！」 巨匠の館でハイポーズ

毎年研修旅行を行っています。今年も益子焼きと笠間焼きを見学に行ってきました。特に茨城県陶芸美術館の人間国宝松井康成展の作品はどれも息を呑むほどの作品ばかり

で全員感動をして帰ってまいりました。十名と少人数ですがそれだけにまとまって活動しております。

【計報】 小須戸出身の偉人、科学映画の父、小林米作氏死去 奇しくも小須戸地区市民展の最終日十一月六日の晩に他界されました。百歳。 公民館では「小林米作追悼展」を十一月十五日から同月

二十九日まで一階ロビーで開催し偉大な功績を振り返ります。「作品上映会」は十一月二十五日の午後七時から八時迄。詳細については小須戸地区公民館まで。 ☎38-2234

第60回 県展入選作品の紹介 (5)

写真部門

「幸せの春」

北方博物館でのスナップです。桜の花とやわらかな光線が花嫁さんを美しくかがやかせてくれました。幸せにがんばり。



本間栄子さん (小須戸)



写真部門

「春の舞」

糸魚川の春祭りで撮りました。



風間ヤヨエさん (新保)

声の広場

～みなさんの投稿コーナー～

小須戸甚句、PRのつもりで

十月十日、第一回甚句日本一全国大会が、長岡リックホールで行われました。私達の民謡の会主、結城先生は、大会実行委員長でありました。「この機会に小須戸甚句を唄ったらどうですか。」とお声をかけていただきました。甚句にも、有名な唄が沢山あります。岩室甚句、両津甚句、長岡甚句、数々の甚句がありました。いろいろの大会は何回も開かれています。出演は初めてです。 会場には大勢の人が入っていました。県外の出演者も大勢おりました。予選、決勝と緊張した雰囲気です。小須戸地区からは数名の方が出演されました。小須戸甚句は二名、会場の皆様は、小須戸甚句を初めて聞いた事でしょう。 唄い終り一日楽しく過ごして帰りました。私の健康は声を出す事、唄っていると楽しいです。皆さんも唄ってみませんか。 風間トシ(小須戸)

見に行つてくんばせや

- ◎新潟市公民館合同作品展 年に一回、新潟市の全公民館を利用してのグループの作品を美術館で一同に展示し、交流を深めています。 会期 十一月三十日(水)から十二月四日(日)まで 午前九時から午後六時まで (ただし、初日のみ十時から) 会場 新潟市美術館(西大畑町) ◎おはなしのせかいへ 日時 十一月十九日(土)午前十時半～ 会場 ふれあい会館(和室) 対象 幼児から大人まで 読み手 おはなしほけつと 《来月の予定》 日時 十二月十七日(土)午前十時半～ 会場 小須戸地区図書室 (公民館内一階) ◎年越し「そば道場」 初心者対象の「手打ちそば道場」を二会場で開催します。 (会場・ふれあい会館コース) 日時 十二月十六日(金)午後七時～ (会場・小須戸地区公民館コース) 日時 十二月十三日(火)午後七時～ 対象 十八歳以上の方(定員各十五名) 内容 「手打ちそば」から試食まで 持ち物 タオル、エプロン、持ち帰り用タッパ 参加費 千二百円(材料費) 指導者 神山清隆さん 申込先 十二月二日(金)までに 公民館☎38-2234 ※両会場の申込みは、ご遠慮下さい。

小須戸地区市民展のアンケート結果

次のようなご意見や感想がありましたのでご紹介いたします。 イベントや「文人画展」の感想について ・立派な企画だと思つた。ご苦労を察する。小林米作先生の人生をもっと知りたかった。(70代・男性) ・新聞で小須戸ゆかりの方に素晴らしい方がいらつたことを知りませんでした。(30代・女性) ・会場当番は事前に出展されている絵など美術品についての説明があると良い。(60代・女性) ・いろんなことが体験できて良かった。(10代・女性) ・多くの作品に興味をわき、今年の締めくくりとさせて頂きます。(50代・女性・三条市) ・市民展全体の感想 ・年々出展数が減少しているのが気にかかっています。(70代・男性) ・継続することが大切だと思います。(30代・女性) ・市民展の目録は名簿だけではなく活動内容、今回の作品のテーマ等も一緒に載せて頂きたい。(30代・女性) ・一生懸命に取り組んでいるのが感じられ、とても感じの良い市民展でした。(50代・女性・新津) ・季節の感じがすく出ていてよかったです。(10代・女性) ・もう少し広いところでやって欲しい。(10代・女性) ・市民展の目録が見やすかったです。(10代・女性) ・目録が足りない所がありました。(60代・女性) ・楽しかったです。(10代・女性) ・様々な作品が観賞できて良かった。(10代・女性) ・バランス良好。(50代・女性) ・公民館の増築、改善を願う。(50代・女性) ・貴重なご意見とご感想をありがとうございます。

シリーズ 「今、子どもたちは」 (110)

楽しいな「マンカラ」

初めて「マンカラ」という遊びが、ひまわりクラブに登場してから五ヶ月。カップとおはしき(小石・木の実はOK!)さえあればできる、いまやクラブでは大人気のこの遊び。ほぼ毎日といっていいほど継続している遊びです。 ・誰でもできる。 ・相手が大人であっても子どもであっても、真剣勝負。 ・その時々、または、相手によって勝者が変わる。 ・などというのがマンカラの魅力なのでしょう。二～三人で対戦する遊びなのですが、おのずと周囲に人が集まり、あの手、この手と、アドバイスが行き交い、試合の申込みも殺到します。



どっちが勝つかなあ～

文芸欄

Table with 4 columns: 川 (題: サポート), 柳, 俳, 句. Each column contains a poem and the author's name.

ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。 ◆12月の相談日

会員募集

◎ラジオ体操・健和クラブ 年齢と共に体の機能の衰えが、気になりませんか。寒さに縮こまっていたら、体を動かしましょう。

日時 12月4日(日)から毎週日曜日(春までの間、実施) 午前9時から10時頃まで 会場 小須戸地区公民館(視聴覚室) 内容 ラジオ体操、ストレッチ体操 問い合わせ 高山まで☎38-4681